

(第9号様式)

平成29年度 第4回香川公民館運営審議会会議録

議 題	平成29年度第4回香川公民館運営審議会会議次第 議 題 (1) 香川公民館主催事業報告について(第4四半期) (2) 諮問について (3) その他
日 時	平成30年3月27日(火) 午前10時00分～12時00分
場 所	香川公民館2階 集会室(小)
出席者氏名	山地廣委員、明石香代委員、大谷紀子委員、鈴木由香里委員、奥谷みさ委員
会議の公開・非公開	公開
傍 聴 者 数	0人
非公開の理由	

○山地会長

みなさんこんにちは、本日はお忙しい中、ご出席くださりありがとうございます。早速平成29年度第4回香川公民館運営審議会を開催いたします。

次第に沿いまして、議事を進めてまいります。この会議は公開になっており、会議録を作成いたします。会議録には会長と委員1名の署名が必要となります。名簿順にお願いいたします。今回は明石委員よりお願いいたします。本日は議題に入ります前に雇用促進事業団跡地に検討されておりました複合施設の件で、茅ヶ崎市の企画経営課から報告が

あるとのこと。前回「香川公民館の存続を願う会」の皆様からも様々なお話をいただいたところですが、今回はこの件に関して動きがあったとのこと。この動きにつきましてご報告をお願いします。それでは企画経営課さんよろしくをお願いします。

○企画経営課

では少しお時間をいただきまして雇用促進住宅茅ヶ崎宿舎の方向性についてお話させていただきたいなと思います。すでにご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、結論から申し上げますと、茅ヶ崎宿舎の取得については見送りという判断をさせていただきました。これまでの経緯をお話させていただきますと、あそこの所有は厚生労働省の外郭団体である独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構という少し長い名称の団体なのですが、この独立行政法人の方が所有をしております。平成15年に耐震診断を行っておりまして東側の3棟はそれを受けて除却をして、残りの5棟は平成17年度に耐震の工事を行っております。市の方も取得に向けていろいろと調整していたところなんですけど、耐震工事を行ったことはわかるが、ただその耐震工事の結果として耐震性能がどの程度になったのか書類上の確認をしたいと機構の方に依頼を2年くらいしていたんですけど、書類が見つからないということで、機構も組織改正など行われていましたのでその中でもしかしたら資料がどこかに行ってしまったかもしれないんですけども資料がないということでした。ですので、現状の耐震診断をしてくださいというお話をさせていただきました。当初は耐震診断を行わないというお話だったのですが、市が取得するには耐震診断を必ずやらなければならないということで、昨年夏に耐震診断を行いまして、今年の1月に結果がわかりました。その結果、耐震性能に不足があったという話がございまして、今回見送りになったという経緯がございまして。見送りにはなりましたが、市としては居住者の方の安心安全を確保しなければいけないということで機構に対しては、しっかりと居住者の方から、今どういった状況なのか説明してくださいといった要請はしております。居住者の方から、たとえばこれから他のところに引っ越しをするとか、そういった要望等あった場合はしっかりと対応してください、というような話もさせていただいております。また今後の市としての方向性ですけども、今まで雇用促進住宅を活用して多世代共生の拠点として取組をしていこうかと考えておりました、その考え方はこれからも踏襲して、平成30年度にまた案をお示しできればという方向で調整を行っているところです。地域の皆様には同じような説明をさせていただいているのですがその中でもその中には、それから雇用促進住宅の跡地も民間の方に売却するような予定になると思いますので、その民間と一緒にできないかというようなお話をいただいていたんですね、小中学校の再整備、小学校も中学校もここの地域の人口が増えたときに建てていて、耐用年数、いつまで使えるとかというのがあるので、今のままうちよつと使えるように再生するのか、新規で建てなおすのかという教育施設の再整備のプランを教育総務部の方で練っています。その中でうまく連携できないかどうかということも検討の一つかなと思っております。そういった意見もいろいろといただいておりますので、またこれから方向性を決めていきたいなと思い

ます。簡単ではございますけども、以上が報告になります。

○明石委員

再整備に関して、学校のある地域の事情とともに、学校ごとに建築時期が変わりますよね。それでまず建て替え考えるときに築年数の古いところ、多世代のプランがあうところは、この計画とその学校がうまくマッチする地域はあるんですか。

○企画経営課

実際昨年１２月に教育委員会の方で教育施設の再整備基本方針というものを策定しました。それは、こういうことの必要性がありますと、だからこういう方針でやっていきますというもので、具体的にどこの学校を一番目にやろうとかなどは一切触れられていません。その再整備基本方針を受けて、来年度基本計画というものをつくっていくことを予定しておりまして、その中で明石委員おっしゃる通り、どこの学校が地域の実情とか校舎の状況を踏まえて優先度が高いかどうかを判断していくと、その作業は平行してやっています。その中でタイミング的にあうところがあるのか、ないのかというところは、作業をまだやっているところですので、それも可能性の一つとして考えていくというところで、必ずしもその形でやっていくと決まったものではありません。

○山地会長

他にみなさんの方からありますか。ちょっと私の方からいいですか、一点、今回の計画があったときはコミセンをつくるというところの絡みがあったと思うんですけど、そのところでその後の湘北地区の自治会連合会とは調整や話などは出ているんですか。

○企画経営課

今のところは今ご説明させていただいたところで止まっています。

○山地委員

特に新しい動きはないと。

○企画経営課

はい。

○香川公民館

コンセプトは残っているということです。多世代型の交流拠点、これを市としては考えているということだと思います。ただ、選択肢は非常にたくさんあるし、来年度一年かけて皆さんのお話をうかがいながらということだと思います、公民館に絡むことがあればこの審議会でもお話していくことありますので。

○山地委員

他にありますか。よろしいですか。それではどうもありがとうございました。続いて、議題の方に入りたいと思います。議題の１「平成２９年度香川公民館主催事業報告（第４四半期）」の内容について、事務局の方から説明をお願いします。

○香川公民館

当日配布の資料にも３つほどありますので、全部で２１事業、かいつまんでご説明して

いきたいと思います。資料の1の「日本の年越し～しめ飾りづくり～」。これはしめ飾りをつくるものです。毎年、地域の方々にご協力いただいて、指導も地域の方々に行っていたいております。非常に人気がありまして、二日間でやっているのですが、まず藁を編むところから始まります。それが一日目になるのですが、一応準備作業になるので二日目よりは人数が少ないです。定員は20名程度で19名の参加がありました。非常に丁寧に皆さんやっておりました。他の公民館でもしめ飾り作りはやっているのですが、香川公民館が一番大きなものを作っているかと思います。これも地域の文化、日本の文化ということで今後も続けていきたい事業と思っております。学校でもやっているのですかね。

○奥谷委員

西浜小では草鞋を作ったりしておりますね。

○香川公民館

地域の方たちが地域の方に伝承をしていき、公民館の手伝いをしていただいている、非常に有意義な事業だったと思います。

○山地会長

材料費はいただいたりしているのですか。

○香川公民館

材料費は500円いただいております。これは里山公園の方で活動されている方たちのご協力で藁をいただいております。里山公園クラブで水田をやっておりますのでそこで出た藁を使用しております。

○山地会長

公民館でとっている藁を使っているのですか。

○香川公民館

使っていないですね。

○山地会長

参加者は年配の方が多いのですか

○香川公民館

そうですね。30年度は子供向けにも行う予定です。お子さん向けにはこういったものを使ったリース作りといいのかなと思っております。今売っているリースなども日本的なものもありますものね。これも評価はAAということになっております。続いて資料1ー4の家族介護教室。こちらは高齢福祉介護課とタイアップして行っております。報償費は高齢福祉介護課の方で支出しております。これは高齢福祉介護課の方で地域のあちこちでもやっているのですが、株式会社ニッショウさんに、介護の仕方ということでベッドですとか車椅子ですとか使用しながら、ニッショウさんのほうにご協力いただいて実施しております。たまたまこの時、鶴が台中の職場体験の生徒さんが来ておりましたので、受付などを手伝っていただいて、実際に講座に参加していただきました。これは15名定員で11名だったのですが、非常に有意義なものであったと思います。

○山地会長

学生の反応というものはどうだったんですか。

○香川公民館

淡々とやっておりました。なかなかこういうものをやる機会ないと思いますので。職場体験で介護事業所へ行ったりすることもあるとは思いますが。またちょっと違った切り口、在宅介護の講座ですので。非常に進歩していて、5年6年前とは比べ物にならないほどどんどん進化していますね。子供たちも興味持ってやっておりましたね。

○山地委員

子供たちもこういうもの触る機会とかあんまりないですものね。今お年寄りと一緒に住んでるとかそういうところも少ないと思いますし。

○香川公民館

シニア体験みたいなのがあるかとは思うのですけれども、割とリアルなものはなかなかないですね。参加者の方々は実際に介護を経験された方々だし、これからはもしかしたらやるという事をおっしゃっていた方もいました。実際には今介護をされている方は、時間がなくてなかなか来られないというところもあると思います。非常に若い方も参加されていましたね。

○山地会長

参加の方は女性が多いんですか。

○香川公民館

そうですね。女性の方が多いです。続いて資料1－7香川健康講座「お寺で座禅」ということで、茅ヶ崎の鶴嶺のほうに龍前院というお寺があるのですが、そちらで実施しました。健康講座という事ですので、いわゆるストレスの軽減ですとか、自律神経を整えるという視点から座禅を取り入れた呼吸法というのを実施しました。これも15名定員で15名となりました。なかなか場所のご説明しづらいところなのですけれども、皆さんしっかり参加されていました。こちらお寺さんの方でも座禅は結構進めていらっしゃるようで、非常にわかりやすい説明をしていただきました。最近は流行ってるみたいですね座禅。

○明石委員

夕方ですか午後の時間ですか。

○香川公民館

午後に実施しております。

○山地会長

今回は初めてですか、公民館で実施したのは。

○香川公民館

茅ヶ崎丸ごと博物館1つのポイントにはなっているんですけども、なかなか職員も入って行きづらいところでして。1つのチャレンジだったのですが快くお引き受け頂きました。こちらは何回か続けられたらいいなとは思ってはおります。

○明石委員

普段門戸さんに行っているのですか。

○香川公民館

そうですね、ただ、一般向けの講習会のようなものもやられているようです。きちっとしたパンフレットもホームページもありますので。

○山地会長

ホームページがあるのですね、見てみます。

○香川公民館

なかなか宗教的なものを取り入れるのは難しいのですが、座禅などはやりやすいですね。また後でご質問はお受けいたします。次は資料1－8の「大人が楽しむお話会」。こちらは明石さんにもご協力いただきました。雰囲気作りからやっていただきました。大体、お話会は子供向けが多いですが、大人向けでも入り込めるものでした。これはこれからもやっていきたいなと思っております。明石さんからもせっかくなので、ご説明いただいてもよろしいですか。

○明石委員

今学校のほうでは読書協力員とかやらせていただいたりしているのですが、お子さんがお話を聞く機会はだいぶ増えているのですけれども、大人の方が本とかを見るんじゃないかと言葉を聞いただけでその情景を思い浮かべながら話を聞くっていう機会がなかなかないので。二宮で図書館では開催されているものがありまして、それはいろんな世代の方が参加されていたんですけれども、大人たちにもそういう機会があったら素敵だなと思いまして市民提案で提案させていただきました。

○香川公民館

すごく癒されるものでした。物語を人から聞くってなかなかないのですよね。

○山地会長

物語はどのような内容のものなんですか。

○明石委員

昔話が多いですね。

○山地委員

私も参加してみたかったのですがこの日はちょっとダメで。

○香川公民館

小学生高学年以上対象としたのでお子さんも少しいらっしゃいました。対象が大人向けということで話す内容も変わってきますからね。

○明石委員

やっぱり語る方がじっくりくる昔話もあります。ただ子供たちには合わないようなお話もありますしね。

○山地会長

これは5分程度で語れるんですか物語は。

○明石委員

長いのは20分と30分とかありますね。長いの中から短いのまでいろいろあります。

○香川公民館

やっぱり成果というのはいろいろありまして、皆さんの技術向上スキルアップにも役立っているとのこと。続きまして資料1ー10「手作り布ぞうり」、これは講師を養成する講座です。この手作り布ぞうりは非常に人気がありまして、講師がどんどん足りなくなってしまう。その講師を養成していこうという講座です。この道具は寒川町の文化資料館のようなところが貸してくださいまして、やっております。これは講師が1人や2人では全然足りなくて、2人に1人位はついて実施しております。これも毎年実施しております。

○山地会長

これは一般の方向けのはもうやっていないんですか。

○香川公民館

一般向けもやっております。これは第二四半期ぐらいにやっております。これは来年度の講師を要請するというものです。今年度の前半にやった中でまたやりたい人は講師にもなっていていただいております。続きまして資料1ー14になります。これはもう3月に入っておりますが、子どもまつりというのは3月に行いました。子どもの主催事業の発表の場ということで行っております。その一部としまして主催事業もやっております。「南極を体験してみよう」ということで、南極越冬隊を2回経験された方が茅ヶ崎に住んでおられて、その方が私の生涯現役応援窓口に登録されていまして、そこでご紹介で講師をしていただきました。ご自身で南極の石や魚の標本も持っていてですね、講座の時に持ってきていただきました。他にもオーロラの実験、それから国立極地研究所というところで南極の服や氷を実際に貸していただけるんですね、そちらの方にも申請をやっていただいて、南極の氷ももって来ていただいて、水に入れて音を聞くといい実験もやっていただきました。最初は2、3人しか集まっていなかったんですけども、開催2週間ぐらい前にテレビで南極について放送されたこともありまして、最終的には満員になりました。南極の石もいただいて今公民館に飾っております。氷も4月に近いときには大きいのがもらえるらしいのですが、3月は終わりの方なので小さいのしか残っていないということで小さい氷ですが持ってきていただきました。この方は12月にも学童でもやっていたとのこと。常にバージョンアップしてやっていただけるので非常に有意義なものでした。少し講義の時間が長すぎたので子供たちが飽きてきてしまうということもありました。

○明石委員

対象は低学年とか高学年とかあったんですか。

○香川公民館

小学生で保護者見学可としていました。

○香川公民館

保護者の方も多かったので大人向けの話も時々しておりました。

○山地会長

こういうのは子供たち興味があって関心が強いんでしょうね。南極に行く人が出るかもしれませんね。

○香川公民館

続きまして、資料１－１７、「お料理基本の基」、お料理のダシの紹介をしながら料理を作るというものです。皆さんご存知かもしれないんですが、加藤さんという方が食育料理研究家なのですけれども、「加藤だし」が非常に有名であります。北海道など全国で講演をされている方です。なかなか食育というのは栄養バランスですとか、いろいろなアプローチがあるんですけれども、今回はだしにアプローチして食育という観点も入れながら行いました。評価が非常に辛いと思いますけれども、人数が少なかったのもうちょっとPRをしたほうがよかったかなというところがございます。保育ボランティアさんも入れて保育もつけておりました。続いて当日配布の資料なんですけれども、資料１－１９子どもまつり。先ほど少しお話ししました「南極を体験してみよう」と同じ日に開催しました。子どもたちの成果の発表ということで行っております。レッツトライボランティアといいまして、年間通して活動をする子供の地域体験授業があるんですけれども、いつもは人数が少ないんですが今年は１７人も参加しておりますのでその発表や、それに合わせてピラティスをやったり南極をやったり、新聞紙で鉛筆を作るといったこともやっております。これは鉛筆の芯にのりで新聞紙を巻いていくというものなんですけれども、なかなかできあがりがおしゃれです。この方は新聞紙で靴やいろいろなものも作ってしまいます。これは子どもたちに非常に人気がありましたね。来年度は公民館の主催事業として実施します。

○山地会長

何分ぐらいでできるんですか。

○香川公民館

つくるのは１０分とか２０分にできてしまいますね。乾かすのに少し時間がかかって完全に乾ききるには１週間位とおっしゃっていました。

○明石委員

削れるんですか。

○香川公民館

鉛筆と同じように削れます。ちょっと太いのですが書きやすいと思います。後はいろいろなボードゲーム、今は知育というんでしょうか、頭を使ってやるゲームがありますので、テレビゲームではなくて、保育室に置いて自由に遊べるような場をつくりました。大人がやっても結構難しいのがあります。

○明石委員

特に指導の人とかおかないで自由に遊んでもらう感じですか。

○香川公民館

そうですね。後は家族でやってたりする人もいました。6種類位準備しておりました。公民館のおもちゃ貸し出しコーナーにも置いておきます。子供たちはテレビゲームではなくてこういうのも好きなのですよ。他には、お祭りが今年中止になってしまったので、一部お祭りの振り替えとして、中学校、保育園の生徒児童の展示ですとか、食改さんの展示ですとか行っております。子どもまつりはもう3回目になります。いろいろと工夫して、コンテンツを増やすなりしてやっております。なかなか集客が難しいところがあるんですが。小学校の校長先生にも来ていただいております。レッツトライも子供たちも1年間通して行いますので成長著しい。びっくりしてしまいますね。練習の時はどうかなと思うんですけども本番はすごいしっかりやってしまうんですよ。次も当日配布資料で1-20に、これが「まちのフィットネス」ということで、子育て世代に向けた様々なスポーツ講座行っております。今回はスラックラインとランニング教室。こちらはアステム湘南スポーツソサエティというところと一緒にしております。スラックラインはもう4年連続で行っておりまして定着して人気があるものです。今回はCMにも出ているインストラクターの方にも来ていただきました。世界ランカーの方です。初めて実施した時にも来ていただきました。これは小学校の体育館の所の場所でないとなかなか難しいものがありますね、危ないところもありますので。

○明石委員

高さはどれくらいなんですか。

○香川公民館

一番高いものだと跳び箱6段位ですね。ふわふわのマットがないと危ないです。ランニング教室はアステムスポーツソサエティさんをお願いをしております。

○山地会長

参加される方は若い方が多いんですか

○香川公民館

幅広いですね。半分半分位です。早く走ったり怪我をしないようにしたりする走り方やトレーニング方法を学んでいます。どちらかというマラソン向けなんですけれども、子供たちはどうしても速く走ってしまいますので、そこは調整が難しいところですけども。今週の土曜日には公民館の広場に行って、市営住宅の周りは少し走りました。どちらもほぼ定員に達しました。子供から大人まで幅広い方に参加していただいて一緒に楽しめるので有意義な事業であったと思います。

○山地会長

高齢者が入るとまたちょっと違いますかね。

○香川公民館

年配の方も今結構走っていますからね。60代の方の参加者もいましたね。これはもうリピートしていきたいなと思っております。一緒にできるところはやっていくというのも

1つの方法かなと思います。

○明石委員

アステム湘南スポーツソサエティとは茅ヶ崎の方なんですか。

○香川公民館

そうですね、茅ヶ崎市の総合型地域スポーツクラブの1つであります。続きまして最後に資料1-21の「たんじゅん農法でおもしろ菜園づくり」、こちらも以前も農業体験をやってくださった長谷さんをお願いしております。赤羽根にご自身の畑がありますので、そこで体験をしました。親子向けで以前実施した時に、年配の方から問い合わせが多かったので今回は年齢の枠を外して実施しました。やはり集まったのは60歳以上の方が多かったですね。以前参加していただいたお役の方々をお手伝いとして来ていただいたのですが、子どもたちからはおじさんばっかでつまらないというような声もありましたけども。内容は大人向けなのですけれども紙芝居を使用してたんじゅん農法を説明したり、その後雑木林の枯葉を集めて赤羽根に運んでいただいて、穴を掘ったり、じゃがいもを植えました。肥料はこれだけなので。一切薬も使わないし。実際に公民館に作ってるのでもそれでやっております。

○山地会長

これは貸し農園というわけではないんですか。

○香川公民館

講師の方が借りている畑になります。長谷さんは体験学習施設で新しく協働推進事業でも行うとのこと。事業につきましては以上になります。

○山地会長

説明は終わりましたが何かご質問等ございますか。

○明石委員

いろいろやられていて新しく、今まで公民館に来る機会がなかった方がきっかけで公民館楽しいなって思われるといいですね。今後継続されるものとかも大人でやってみたら面白かったから今度は子どもたちにもとか、子どもたちにやってみたら大人たちにも展開できるようなものも面白いと思います。

○香川公民館

農業については最初は親子向けで実施していたのですが、シニアの方からなど割と幅広く興味のある方もいらっしゃいました。そこは、一緒にしてしまうと難しいところもあるので分けたりして工夫しながら考えていきたいなと思います。後はスポーツについては、なかなか一緒にできないところもあると思うんですけども、両方で相乗りして展開できるようなものも考えていければと思います。お話しとかも。

○明石委員

学校の子どもたちが、なかなか学校では学べないようなものが公民館に来たら学べるというようなのもいいと思いますね。幼稚園とかも。

○鈴木委員

本物に触れるという事はいいですね。

○香川公民館

公民館は学校とは違って小ぶりでできることもありますので。

○奥谷委員

どうしても学校なんかであと1クラスでも40人とかってなってきたらうんですけども、少ないと、満足度が高い講座になっていると思います。

○山地会長

すいません、今日説明がなかったんですけども資料1-1の国際理解講座、これは1回きりなんですか継続して今後もやっていくんですか。

○香川公民館

国際理解講座は毎年行っております。国を変えたりアプローチを変えたりして行っております。この反省点にあるようにかなり内容が深いので数回に分けてしたいなとも思っております。

○山地会長

そうですね1回だけではなかなか1つの国を勉強するのは難しいかなと思います。

○香川公民館

以前はインドの古代王朝の話をしたり、講師の方も大学の教授なのでですけども、参加している方もかなり勉強されている方が多かったです。質問も難しい質問されている方も結構います。少し違う形でもいいかなとは思いますが、コンセプトといたしましては、国際理解ということなので、日本と日本に来ている外国人と交流しようというのがありますので。そういったものは他でもかなり進んでやっておりますのでちょっとほりさげて行っております。

○山地会長

これからオリンピックもあることで少し国際的なものも入っているといいと思いますね。

○香川公民館

今年度は英会話もやっております。来年度も実施予定です。英会話講座は初級なんですけれどもサークルが立ち上がったたりしております。

○明石委員

カテゴリーは大体どのカテゴリーで何個くらいとかいうのはあるんですか。

○香川公民館

そうですね、実施計画である程度決められております。それぞれのカテゴリー毎で設計をしております。1番多いのが社会的要請課題をテーマとした事業となっております。ここでもそうだと思います。来年度も15事業程度実施予定です。子ども事業も次いで多いです。これからやらないといけないと思っているのは家庭教育支援関連事業ですね。難し

いんですが、おそらく学校とか地域も連携しなきゃいけないでしょうし。今はこの家庭教育支援関連事業というのは、乳幼児健康相談ですとか、子育て支援講座等を行っております。

○明石委員

学習指導要領にも家庭教育支援は入っているんですけど。

○奥谷委員

家庭教育は1つのポイントにはなっているんですけどね。ご家庭でもなかなか聞けない事情等がありますので、そういう関係性が公民館とできてくるとまた違ってくるかなというふうに思います。学校はいろいろな相談を受けてはいるんですけども、直接子どもと関わってしまっているんで、なかなか聞きづらいそれ以上聞けないということもあります。なかなか何か提供できるものがあればと思うんですけどもね、なかなか難しいですね。

○香川公民館

学校もあまりにも仕事が多すぎる、本来福祉だとか行政がやらなきゃいけない部分も、学校が担っている分が高いと思いますので、それを地域だったり社会教育だったりシェアしたり、かつ連携しながらやっている感じではこれからなっていくのでしょうね。今家庭教育支援応援プログラムというものが教育委員会にありまして、いろんなところでいろんな事業をやっているんですけども、それを束ねて類型化してどういう風に強化していくとかっていう取り決め行っています。ほんとにあちらこちらでいろいろな事業を行っているんで。もうちょっと一元的に把握してここが空いてるからここに力を入れるということをやっていくべきなのかなと。

○山地会長

ではよろしいですか。次に移ります。議題2、諮問についてということで事務局の方から説明をお願いします。

○香川公民館

今日は当日配布の資料の2というものなんですけれども、来年度諮問させていただくという流れになっておりまして、諮問の案を作成させていただきました。検討を要する事項ということで、地域の教育力を育む施設としての公民館としての役割はどうあるべきかということで諮問させていただけたらなと思っております。その中でも公民館の役割でも3つ、未就学児から小学生の居場所である、それと地域の大人との関わり合い、中学高校生と未就学児小学生との関わり合いの3つに集約させていただきました。理由につきましてはこちらに記載の通りなんですけれども、国の答申の方でも公民館の位置づけというんでしょうかね、今後どういう役割が求められるかといったところを記載しております。この中で子どもとの関わりにおいて公民館としてどのような方策で地域の教育力を向上させられるか、ということが必要な時期であると認識しております。そのために後段の一をご検討いただけたらなと思っております。子どもとの関わりというところにフォーカスをする

んですけれども、地域の大人ですとか、なかなか今関わりが薄い中学生高校生こういった方たちにも関わって、あらゆる世代の人たちがどういう風にして関わっていくべきところなのかというところを、公民館の役割として皆さんに議論いただいて答申いただければと思っております。なぜこういった形になったかといいますと、資料は2-2、これは29年度の茅ヶ崎のまちづくり市民満足度調査の報告書から抜粋をしております。北部地域のまちづくりの満足度と重要度というところで、地域で満足度の重要度ともに高い項目というのがいくつか出ているかと思えます。やはりお子さん、教育こういったものが非常に高い割合で、重要度が高いという判断がこの地域です。満足度では色々ございますけれども、こういった結果が出ております。裏面を見ていただくと、こちらは重要度が高いけれども満足度が低いという項目が出ております。これはどちらかというとまちづくり的な部分で重要だと思うけれども満足度が低いというものです。下にもマトリクス表がありまして、どの辺でこの項目が位置づけられるかというのを示しています。満足度が高いというのは、学校もそうですし公民館もそうですし、そういった教育関係に携わる者としては非常に嬉しい結果ではあるんですけれども、ただそれが本当に完璧かというところではないわけですし、やはり重要度が高いものについてはもう少し深く掘り下げて、市民満足度を上げていかなければならないなと思っております。特にこの質問項目もざっくりしておりますので、何が満足なのかというのが明確には見えないのなんですけれども。子どもたちの生きる力を育む学校・家庭・地域の教育力というのが、満足度がさほど悪くはないのなんですけれどもそこまでいいわけではない。安心して子育てができる環境、というのが2番目に重要なものとしてなっております。これはまあまあですね。子供たちが安心して学べる教育環境、これも重要度が4番目に高く、満足度も重要度から考えると満足度もそこまですごい良いわけではない。満足度が高いのは住み心地なんですね。住み心地って何なのかというところがありますが、定性的な話なのかもしれません。

○明石委員

ハードだけではなくてソフト面かもしれませんね。この安心して学べる教育環境というのは、具体的にどういうこととかあるんですかね、暴力とかがないとかそういうもので考えてしまってよいんですか。

○香川公民館

この項目だけではなかなかわからないところがありますね。

○山地会長

一応全体の傾向としてはこういう傾向にあるので、これの中身はどういう風になっているのかは、もう少し掘り下げていかないと具体的なところにつなげてこないのかなという感じがします。

○香川公民館

全体の市民満足度調査というものは非常にボリュームのあるものとなっております。数

字を基にした分析も必要だとは思いますが、そういったものを交えながらご議論をいただきますして、私どももちろん準備はいたしますので、議論できる形で来年も進めて行けたらと思っております。

○山地会長

先日の神奈川県公民館大会のところでも公民館の役割としては、地域の課題というか、そういうものを解決するということがあったので、その1つの地域の課題としてこういうアンケートの結果から地域の課題というのは抽出してそこにフォーカスをしてやっていくのはどうかという感じはしますね。

○香川公民館

検討して行く前段で会長とも少しお話をさせていただいたのですが、公民館大会ではいろいろな議論のテーマをいただきましたので、その地域課題というところは分析するにはやっぱり市民満足度のような、満足度に最終的にはなってしまうのですよね、講座何回やったとかだけじゃわからないことがある。最終的な評価っていうのは何とかというのが最終的なものになると思いますので。

○山地会長

そうですね。何か皆さんの方からご意見ございますでしょうか。

○香川公民館

全然違うアプローチのご提案あればそれでも構いません。前回の答申は若者をいかに巻き込むかというものでした。その前が地域に開かれた公民館というものでした。

○山地会長

先ほど皆さん少し意見が出たように学校とか幼稚園とかもそうかもしれませんけれども、そういうとこだけが教育だけではなくて、それ以外のところでできるところはどういうのがあるのかと、それは公民館でできるところがあれば、そういうのは提案していければいいのかなと思っております。

○奥谷委員

フリースクールじゃないですけどもう、そういうのも広まっていきつつあり、茅ヶ崎でもいろいろな団体の方が常に動かれていて、児童の学習支援とかそういう場面ではもうご自分たちで本当に全部ボランティアという形で、場所を提供するので子どもの学習をみようかという感じで、ほんとにいろいろな団体がたくさんあります。実際にのびしろクラブというものがあるんですけども、そういうふうな感じで子どもたちが学習で困っている部分を支えていこうっていうときもあるし、地域の中で育てられているというところがすごく大切だと思うのですよね。香川小学校では本当に感じるんですね。いろいろな行事、昔遊びに関しても何でも本当に協力していただいて、いろいろな体験をさせていただく。それは学校だけではできないそういうふうに地域がいろいろなことに関わっていただくことによって子どもたちがどんどん馴染んでいくというか、地域といろいろなことを通して結びついて行けたらそれが素晴らしいと思うので。公民館のいろいろな事業もそうですけ

れども、香川の子どもにとっては、ほんとに大きな存在だなというところで手助けになっていると感じています。

○鈴木委員

幼稚園ではカルタをやったりするんですけれども、茅ヶ崎カルタというのがあるんですよ。そういうのをいただいたので、やってみたところ結構子どもたちもカルタ遊びだとすごい喜んでやったりするので、地域的なことも勉強しながら。上毛カルタでしたっけ、どこの小学校に行っても幼稚園に行ってもそれをやっているから、そこで生まれた子供たちは大人でも同じものを習ってやってきたから世代を超えて話が合うというのは聞いたことがありますので、そういうのをやったりしたら面白いなときもしますが。

○香川公民館

茅ヶ崎カルタは公民館にはあります。

○大谷委員

茅ヶ崎カルタは青少年指導員で最初紹介されて地域に持ち帰ろうということで、プラザに置いてみたりと色々と活動してきました。鶴が台でも地域の方が子どもたちの居場所づくりが必要だということで、月に1回夕方を開いているんですけれども、私行ったことないのでわからないのですけれども、お話聞く限りすごい盛況で、ゲームをしたりですとかご飯を食べたりですとか、お勉強したりするスペースですとか、かなり流行っていて、どんどん人も増えているって聞くんですね、だからそういうところを見てみたいするのもいいと思いますし、何よりも、香川公民館では、放課後に子どもたちがすごく来て、ロビーで遊んでいるというのがすごく印象的で、ちょっと使いたいなというときに来ても私たちが入るスペースがない位子どもたちがいるので、本当にここって子供たちにとって必要な場所だっているのは来るたびに感じるの、そこに大人としてどう描かれるのかというのは考える必要があるのだなというのはほんとに思いました。

○山地委員

子どもだけではなくてね、そこにお年寄りとか高齢の方も一緒にいられる場所とか、そういうところで何か新しいもの教えてもらおうとか、そうやってつながるといいかなと思っています。

○明石委員

社会教育というところでフリースクールとかの話さっき出ましたけれども、あとは学び直しが何かできたらいいなと、若い方とか若くなくても社会出てみて知識がいるんだなと、何か学び直しも講座みたいなものとか、それも小学校中学校でなかなか勉強する気持ちにならなくてできなかった子も、大人になってみたらこういう勉強とかこういう学問が面白かったとかあるので、そういった機会でも学べる、その学びの出会いとかいうのもすごくあるといいなと思っています。

○山地会長

ではこの内容で諮問として我々の方で受けさせていただくということでよろしいですか。

○香川公民館

来年度の第1回でこの正式な諮問という形になると思います。この内容ですと広がりもありますし課題もたくさんありますので良いものができると思います。

○山地会長

何か今質問等ありますか。

○明石委員

答申はどのような形でどのようなスケジュールでどのような風にまとめていったらいいのですか。

○山地会長

大体毎回議論するような形になると思うんですけども、最終的には3月に答申書という形で出します。それまでに議論したり意見を書いていただいて、それを最終的にまとめていくという形になると思います。年4回公民館運営審議会がありますので、そのところでまとめていくという感じになりますね。なのでその審議会の間に意見を書いてもらったりすることもあるかと思います。

○香川公民館

前回のものは臨時会もあったんですが、今回はなるべく少なくする方向で行きたいと思っています。今日だけでも結構いろいろな話がいただけたので。

○山地委員

今日はこの案をいただいてこれで良いかというような内容なんですけれども、もしこれによければ第1回目の時にでもこれに関して皆さんから何か思う所をご意見いただいて、具体的な内容でもよろしいですし、これまで経験した内容でもよろしいですし、今いろいろなところでこういうことが行われてますよというようなことでも良いと思うんですけども、何かコメントやペーパーで出していただければ、それをまとめて次回の審議会の時に皆さんのほうに紹介をしていただければいいかなと思います。それは後程公民館のほうに資料送っていただければと思います。

○香川公民館

後程またお話ししますが、平成30年度の第1回審議会は5月連休明けの2週目か3週目を予定しています。4月中かそのぐらいまでの私にいただけると、そんな長いものではなくて構いませんのでメモ程度で結構です。先ほどしていただいてお話でももちろん構いません。特に一番難しいのは中学生高校生とどういうふうに関わっていくか、1番忙しい時期の子たちなので、1つボランティアのクラブだとか高校にもありますので、そういうところから協力をいただくとか、そういう形でやって子供たちも歳が近いお兄さんお姉さんが方が言うこと聞くんですよ。

○大谷委員

実際に中高生っていうのは公民館に来ていたりするのですか。

○香川公民館

少ないですがいます。例えば高校生のバンドをやっている子たちが練習に来たりします。ただ大きい音が出せないのを音を絞って練習したり。あとカードゲームやっている子たちが中にも中高生が来ていることもあります。小学生に教えてあげてみたいですね。そういうのもあるのですよね。雀荘みたいになってしまっております。

○明石委員

高校生って難しいではないですか、中学生だと地域の子どもですけれども、高校だといろいろなところから来ていますから。日常茅ヶ崎に来ている子でも家は遠くだったり。毎日の生活と公民館が高校生になるとどんどん違ってきてしまいますもんね。

○香川公民館

参加ではなくて運営に関わる形になるかなと思います高校生は。ボランティア部がどこにでもあるんですよね、JRC、赤十字の関係のジュニアレッドクラスというのがあるんですよね。そういうところから声をかけていくのもあるかなと思います。多世代が関わるといってやっぱり公民館まつりとかそういうところになりますけれども。きっかけを作らないとなかなか始まっていけないので。

○鈴木委員

幼稚園では職業体験で今高校生で受け入れてるんですけども、それを見ると男の子もすごく積極的に子どもの世話をしたいっていうのがあったりしてそれで子どもたちにもすごい人気で。そういうのを見るとこういう機会を設けてあげると高校生たちの子も素直にやってくれるのだなということを感じるのです。よくアメリカとかだとボランティアの活動をすると成績の形になるっていうのがありますよね。

○奥谷委員

大学はそういうのがありますよね。やっぱりボランティアで学校のほうに支援に行くとそれが単位になる。それで大学生の方も来たりすることあるので。

○香川公民館

公民館もインターンシップとか受け入れていることもありますので。そういう時は大学生が来る時はあるのですけれども。ちょうど事業がない時に来たりなかなか難しいんですよね。夏休みとかは自由広場などをやっているのです事業が少ないので。学校の先生が来られることもあるんです。去年は小田原の先生が来たりして。そういうのをうまくマッチングしてくれるといいんですけどもね。

○明石委員

発信の仕方なんかは、キャッチしやすいような事業の紹介をするといいですよ

○香川公民館

今おっしゃってるのは昨年の答申の10ページですね。若い人たちの利用を増やしたいとなると今までは広報誌とかチラシとかだけでPRをしていたんですけど、SNSの活用ですとかFacebookなのかTwitterなのかInstagramあるかというのがあるんですけども、実はこれを受けましてFacebookはもう始めております。

答申書はこのような形で仕上げていくんですけれども、先ほど話したような形で1回目すでにいろいろ意見出していただいていますので、それを吸い上げて、2回目にはある程度骨格なものは作ってまた議論していただいて、3回目には完成に近いような形でもう一回見ていただいて、スケジュールとしては前回の答申書の記載がありますが大体同じような形を想定しております。臨時会が10月2月に入っているんですけれども、なるべくやらないような方向で調整したいと思います。最後3月に答申をいただくような方向で行きたいと思います。

○山地会長

ではこういう方向で進めていくというところで、第1回目に館長の方から諮問よろしくをお願いします。それでは議題のその他で何か事務局の方からありますでしょうか。

○香川公民館

それではスケジュール的な部分で1つ、平成30年度の第一回の審議会については5月の連休明け2週目か3週目を予定したいと思います。今ここで調整をさせていただきたいのですが、5月15日14時からはいかがですか。それでは、みなさん大丈夫なようですので、5月15日14時から平成30年度第1回香川公民館運営審議会を行いたいと思います。5館の審議会の連絡協議会も5月22日10時から。茅ヶ崎市役所本庁舎会議室で行います。来年度からは香川公民館が当番館になりますので、5館の連絡協議会の会長も山地会長をお願いします。

○山地会長

ありがとうございました。他にみなさんにかございますか。ないようであればこれで終わります。どうもありがとうございました。

会長署名 山地 廣

委員署名 明石 香代